

15) 太鼓楼

御本尊：虚空蔵菩薩像

太鼓楼（たいほうろう）は、もともと、時刻を知らせる太鼓（時太鼓・時の太鼓）を鳴らすお堂でしたが、再建の際に北鐘堂を同じ黄鐘調（おうしきちょう）の鐘が設置されました。

普段は閉まっていますが、毎月21日には開堂されます。

御本尊の虚空蔵菩薩（こくうぞうぼさつ）は、虚空（宇宙）のように広大な知恵と慈悲を有する仏さまです。

毎年4月いっぱい、太鼓楼にて十三まいりの法要が営まれ、前厄・後厄も含め、かぞえ年で13歳前後のお子さんやご家族が、今後の人生で知恵、福德、健康などを授かれるよう、祈願しに訪れます。



16) 南鐘堂

御本尊・・・阿弥陀如来像

南鐘堂（みなみがねどう）の正式名称は、「鯨鐘楼（げいしょうろう）」と言います。

聖徳太子の御霊を引導鐘（いんどうがね）と呼ばれる鐘の音によって慰めるための回向所でもあり、「太子引導鐘堂」とも呼ばれています。

外壁は八角形、室内

は円形の、個性的な造りのお堂で、鐘は北側の2つが黄鐘調であるのに対し、南鐘堂のものは盤渉調（ばんしきちょう）となっています。

北鐘堂の黄鐘調の音は「陽春の音」、南鐘堂の盤渉調の音は「秋の幽寂の響き」と称されます。

通常、どなたでも鐘をつくことができます。

